

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成23年9月29日(木) 5校時
児 童 男子1名 女子3名 計4名
指導者 工 藤 敦 子

1 単元名(教材名)

みんなでよもう(みいつけた) 光村図書 上 P.106~P.111

2 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでの学習の中で音読に取り組み、たくさんの教材をすらすら読めるようになった。教材「なぞなぞあそび」の学習では「問いをもつ」ことについて学習し、なぞなぞ作りを行った。また、初めての説明的な文章である「くちばし」では、「問いをもち、それに答える」ことを学び、文型を生かして「問いと答え」のある文章を書く学習も行った。

文字の習得では、ひらがな五十音の学習が終わりかなりの文字を読み書きできるようになってきているが、拗音や促音は読むことはできるが表記することまでは定着していない。読書は好きでたくさんの本を読んでいる。しかし、中には、拾い読みに近い読み方の子もいる。読書は大体が文学的な文章である物語の本であるが、説明的な文章である科学読み物も「くちばし」を学習してから増えてきた。

生き物に関する興味関心では、男子児童は大変好きで興味を持ち、テレビや本から得た知識も豊富である。女子児童では虫を見つけたり触ったりすることのできる児童は一人で、他の二人はあまり興味を持っていないため、1学期にはオタマジャクシ、カタツムリ、アオムシを探したり、育てたりする活動を行ってきた。

(2) 主たる指導事項

学習指導要領第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身につけさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元の主な指導事項は、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」(読イ)、「文章の内容と自分の経験とを結び付けて自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」(読オ)の2つである。

本単元の教材「みいつけた」は、「くちばし」に続く二つ目の説明的な文章である。教材は、序論で問いかけをし、その後の本論で答えながら説明するという構成が三回繰り返されている。「～は、～にいます。」「～は、～すると見つけることができます。」という文型を繰り返し読んだり比べたりする過程で文型に目を向けさせるとともに、「問い-答え-答え-答え」という説明的な文章の構成にも触れながら読み取らせていく。

(3) 指導にあたって

本単元では、「生き物クイズを作ろう」という大きな課題をもたせ、生き物について書かれている2つの段落を基本的な形として、生き物クイズを作る言語活動を取り入れていく。

第1次では、生き物クイズで導入し、知っている生き物や教材文の生き物について知っていることを話し合い興味を持たせるとともに、最後には自分たちで生き物クイズを作るという計画を立て最後まで学習しようという意欲を持たせる。

第2次では、3種類の生き物について、2種類ずつ段落構成を比べながらどこにいるのか、どうすると見つけられるのかについてクイズ作りを通して読み取っていく。音読では、「～は、～にいます。」

「～は、～すると見つけることができます。」という文型に慣れさせるために、段落読みを取り入れていきたい。また、文末表現に気をつけさせて読み取ったり、動作化を取り入れそれを説明させたりすることにより、住处と見つけ方をしっかりとらえさせていきたい。交流する場面では、知っていたことや初めて知ったことなど自分で読みとったことを伝え合えるようにしていく。

第3次では、言語活動としてクイズを作り、クイズ大会を開く。「○○は、～にいます。○○は、どうしたら見つけることができるでしょうか。」というクイズを作り、「○○は、～すると見つけることができます。」と答えるように、主語と述語を意識していく。また、学習したことを広げられるように、読書の時間を設ける。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・身近なことに興味をもち、すすんで文を読んだり、紹介したりしようとしている。

(2) 読むこと

- ・説明の順序に気をつけて大体的内容を読み取ることができる。(1) イ
- ・文章の内容と自分の経験を結びつけて、意見を発表し合うことができる。(1) オ

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・主語と述語の関係に注意しながら、読むことができる。(1) イ (カ)

4 単元の評価規準 (B)

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・説明文を進んで読んだり、経験と結びつけたりしようとしている。

(2) 読む能力

- ・何と何がどういう順番で書かれているか理解している。
- ・自分の経験をもとにした意見を発表し合っている。

(3) 言語についての知識・理解・技能

- ・主語と述語の関係を理解している。

5 学習指導計画（読むこと 7 時間 全 7 時間）

段階	学習課題	学習活動（時間）	評価規準（B）
つかかむ	・身近にいる小さな生き物について話し合おう。	・クイズと出会うとともに、知っている生き物や教材文について話し合い、学習計画を立てる。 （1 時間）	【関】 知っている生き物について話し合い、これからの学習に関心を持っている。（発言）
とらえ・ふかめる	・クイズの作り方を知ろう。	・だんごむしと蟬の文章構成をつかみ、クイズの作り方を知る。 （1 時間） 本時	【読イ】 クイズの作り方を知り、だんごむしと蟬のいる場所と見つけ方を、問いと答えをつなげて読み取っている。（ノート、発言）
	・ぼったのクイズの作り方を知ろう。	・だんごむしとぼったの文章構成の違いをつかみ、クイズの作り方を知る。 （1 時間）	【読イ】 だんごむしの文章と比べ、ぼったのいる場所と見つけ方を、問いと答えをつなげて読み取っている。（ノート、発言）
	・「みいつけた」のお話は、どんなことが書かれていただろう。	・「みいつけた」の文章構成をとらえる。（1 時間）	【読イ】 文章の構成の仕方を理解している。（ノート、発言）
	・3 つの生き物について、見つけ方をまとめよう。	・クイズを行いながら 3 種類の生き物についている場所、特徴、見つけ方をまとめ、自分の経験と関連させて発表する。 （1 時間）	【読オ】 3 種類の生き物について、いる場所と特徴、見つけ方を理解し、知っている生き物と関連させて発表している。（ノート、発言）
つかう	・クイズ大会をしよう。	・生き物クイズを作る。 （1 時間）	【言イ】 教材の文型に合わせた文で、クイズを作っている。（発表）
	・生き物の本を読もう。	・生き物の本を読む。 （1 時間）	【読カ】 興味を持って生き物に関する本を読んでいる。（観察）

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・ 問いと答えというクイズの作り方を通して、生き物の住处と見つけ方を読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	時間	指導上の留意点 ・ 評価
つ か む	1 前時の学習を想起する。 2 学習課題を把握する。 クイズの作り方を知ろう。 3 学習場面を音読する。	5 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習計画を振り返る。 ・ 「だんごむし」と「せみ」の段落を比べながらクイズの作り方を学ぶ学習であることを捉えさせる。 ・ 一斉読みをさせる。
ふ か め る	4 学習課題を解決する。 ・ 1 段落目に何が書いてあるかを捉える。 ・ 2 段落目に何が書いてあるかを捉える。 ・ 「だんごむし」のクイズの作り方と答え方を考える。 5 学習課題のまとめをする。 ・ 生き物クイズを行う。 ・ 読み取ったことを動作化する。 ・ 分かったことを発表し合う。	3 7 分	<p><工夫1> 記述に即して考えを持たせる工夫 ・ 「～います」「～みつけることができます」の文末表現に気をつけさせて、考えさせる。</p> <p>・ ヒントと問いという形式の既習の「くちばし」を基に考えさせる。</p> <p><工夫2> 自分の考えを表現する場の工夫 ・ クイズを出す人と答える人になって学習内容を確認させる。 ④いる場所の文に問いの文を付けて問題の文を作っている。また、見つけ方が分かり問題に答えている。 ・ 生き物を探す動作をし、どうしたら見つけることができたかを発表させる。</p> <p><工夫3> お互いの考えを交流し合う場の工夫 ・ 知っていたことや、新しく知ったことをペアで交流させる。</p>
ま と め る	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の学習を確認する。	3 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイズの作り方と答え方について、ふり返させる。 ・ 次時の予告をする。

(3) 具体の評価規準

- A 生き物がいる場所の文に問いの文を付けて問題を作ったり、見つけ方の理由もあわせて答えたりしている。
- B 生き物がいる場所の文に問いの文を付けて問題を作ったり、それに合わせた答え方をしたりしている。

努力を要すると判断された児童への具体的な手立て

一文ずつ確認し、何が書かれているかを考えさせて、いる場所と見つけ方をとらえさせ、クイズを作らせる。

7 板書計画

みいつけた

くいずのつくりかたをしろう。

いるところ

だんごむしは、
にわやこうえんに
います。

とくちよう

だんごむしは、
くらくしてしめったところが
すきです。

せみは、
木のみきやえだに
とまっています。

さしえ

みつけかた

おちばやしをどけると、
みつけることができます。

さしえ

さしえ

だんごむしは、にわやこうえんにいます。
どうしたら、みつけることができるでしょうか。